

# cloud-all クラウドー 連載 8th

## 大塚商会のサブスクリプションビジネスサポート

### クラウドーで、課金ビジネスを始めよう!

クラウドサービス管理プラットフォーム「クラウドー」が本格的に運用されるようになり、契約数も大幅に伸びています。中でもMicrosoft Office 365は、代表的な商材としてパートナー様にぜひご提案いただきたいサービスです。そこで今回は、パートナー様の提案のヒントとなるような事例をいくつかご紹介いたします。

#### ● Case Study 1

#### Office 2007からOffice 365へ さらにセキュアなデータ保管も

土木工事や管工事を含む造園業を営むエンドユーザー様は、国内に3カ所の拠点をもち、従業員58名で業務を行っていた。文書作成や資料作成は、Microsoft Office 2007 Standardを利用していたが、延長サポートの終了に伴い、セキュリティに対する不安が課題となっていた。また、拠点間でのファイル共有と管理をスムーズに行いたいという要望もあった。

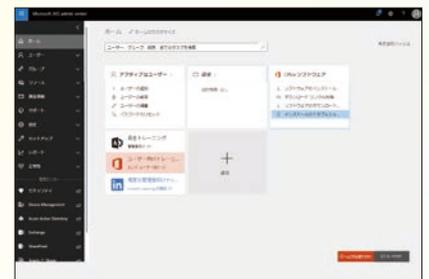
相談を受けたパートナー様は、Microsoft Office 2007 StandardからMicrosoft Office 365 Business

への移行導入を提案する。導入を検討する際の資料として、10年間のコストシミュレーションを行った結果、Microsoft Office 365のほうがコスト高ではあったが、セキュリティ面での安心感とストレージの有効活用が導入の決め手となった。

Microsoft Office 365は、クラウドサービスのため、常に最新版を利用することができる。新しく搭載された新機能を使えることはもちろんだが、随時更新されるセキュリティ対策プログラムを配布されるのも心強い。Windows 10とMicrosoft Office 365であれば、自動更新の設定を行うことで、管理者の手を煩わせることもない。

ストレージについては、Microsoft

Office 365に標準装備されているOneDrive for Businessを活用。ユーザー1人あたり1TBの個人用オンラインストレージが利用できるようになった。このストレージを活用することで、ファイルサイズを気にすることなく、セキュアに各拠点間のファイル共有が可能となった。



Office 365の管理画面。Web上でソフトのインストールやアカウントの管理できるので作業効率は非常に高い。

## クラウドー動画コンテンツ cloud-all Video content

#### ● Office 365 商材編②

#### Office 買うなら365



#### ● Office 365 商材編④

#### Exchange Online



#### ● Office 365 商材編⑥

#### Skype for Business Online



#### ● Office 365 商材編①

#### Office 365とは



#### ● Office 365 商材編③

#### OneDrive for Business



#### ● Office 365 商材編⑤

#### SharePoint Online



#### ● Office 365 商材編⑦

#### Microsoft Teams



## ● Case Study 2

### より使いやすいメールサービスへ移行しさらにメールのセキュリティも強化

福祉老人ホームや病院を運営されている福祉業のエンドユーザー様は、国内2カ所で150名のスタッフが業務を行っている。これまで業務中の連絡手段は、ホスティングサービスのWebメールを使用していたが、操作しづらい点と外出先からは使えないという点が不満だった。そのため、あるスタッフは、個人で取得したフリーメールをCCに入れて運用しており、セキュリティの観点から大きな懸念となっていた。また、PCの入れ替えや故障のたびに、メールデータの移行作業が発生し、管理者の大きな負担となっていた。

これらの課題を解決するためにパートナー様は、Exchange Onlineの

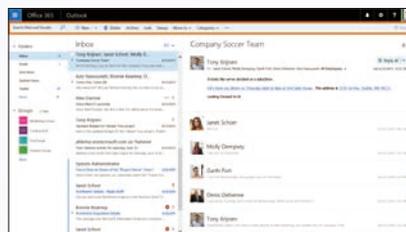
WebメールであるOutlook on the webを提案。製品としては、Microsoft Office 365 Business Essentialsを導入するに至った。

Outlook on the webは、見やすく統一された画面でメールや予定表などを確認できるので、いつでも最新の情報にアクセスし、高い生産性を実現。Windows PCはもちろん、iOSやAndroidを搭載するスマートデバイスでも利用できるため、現場のスタッフにも好評を得ている。

Outlook on the webの運用が始まり、外出先からメールボックスを確認できるようになったので、フリーメールへ転送する必要がなくなり、メールのセキュリティも担保された。その他にも組織としてメールソフトやメールの運用方法が統一できたことや、PCの入れ替え

時や故障の際にメールデータの移行作業が不要となったことで、管理者の負担が軽減された。

今回の事例では、Outlook on the webの使いやすさにご満足いただけたこと、また組織としてのメールに関する運用ルールの統一が可能となったことが導入ポイントとなっている。その他にも同業種の導入事例が参考となり、導入の決め手となった。



Outlook on the webは、メールやEPR(Enterprise Resource Planning)にまつわるオフィス業務の課題を解決し、セキュアに高い生産性を実現する。

## ● Case Study 3

### メールデータの管理工数削減 外部ユーザーとのデータ共有も実現!

運輸業を営むエンドユーザー様は、既存のメールサーバーの容量が10GBしかなく、定期的にメンテナンスを行わないと、運用できなくなるという問題を抱えていた。

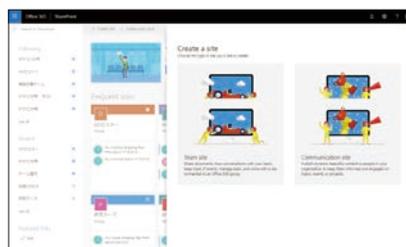
既存のメールシステムは、国内に4カ所の拠点と、米国、タイ、上海、韓国といった海外の複数拠点とやり取りを行う77名のスタッフで業務を行うため、メールアドレスを無制限に作成でき、とにかく低コストで運用できることを重視した選択だった。エンドユーザー様は、費用的には満足していたが、すぐにメールサーバーの容量がいっぱいになってしまうため、通常業務に支障をきたすこ

ともあった。またメールサーバーの管理者は、専任ではないので、業務の間でメンテナンスを行わなければならないと、その手間と時間が大きな負担となっていた。

この問題を解決するためにパートナー様が提案したのは、Microsoft Office 365 Business Premiumだった。導入後は、1ユーザーあたりのメールボックス容量が、50GBと大幅に増大。この容量であれば定期的なメンテナンスは不要となり、システム担当者は負担が低減され、本来の業務に集中できるようになった。社内のメールサーバーからクラウドサービスへ移行したことで、外出先からメールの確認ができるようになったことも好評だ。

また、メールシステムの刷新だけで

はなく、実はエンドユーザー様のご要望により、取引先企業とファイル共有を行う仕組みづくりも同時に進めていた。ファイル共有は、SharePoint Online構築サービスを利用することで、最低限の導入工数とコストで運用を開始できた。現在は、社内でのファイル共有、および取引先様とファイル共有に活用している。



SharePoint Onlineを活用するためのサイト構築や環境設定は社内でもできるが、構築サービスを利用することで、迅速かつ効率的に運用することができる。

cloud-all Cloud-all NEW web site OPEN!  
**クラウドーる**の新しいWebサイトができました!



クラウドーるが2分で分かる  
動画もサイトで公開中!



これからも随時、最新情報を  
更新していきます!

Webサイトへの  
アクセスはこちら

[https://bp-platinum.com/platinum/view/files/cloudall\\_180903/](https://bp-platinum.com/platinum/view/files/cloudall_180903/)

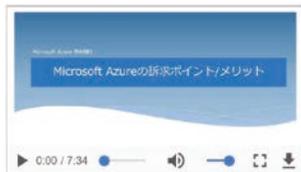
# クラウドーる動画コンテンツ

cloud - all Video contents

## ● Microsoft Azure 商材編①

### Microsoft Azure

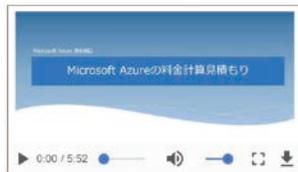
マイクロソフト社が提供するパブリッククラウド「Microsoft Azure」の概要に加え、4つの活用パターン、さらにターゲットについてご紹介します。



## ● Microsoft Azure 商材編②

### Microsoft Azureの料金計算見積もり

Microsoft Azureの料金計算見積もりを行うにあたって必要となる、最新価格の調べ方や見積もりで用いるサイトの使い方などを解説します。



## ● Microsoft Azure 商材編③

### Microsoft Azureの仮想マシン作成

Microsoft Azureでは、OSなども自由に選べる仮想マシンをクラウド上に構築することができます。ここでは実際に仮想マシンを作成するための手順をご紹介します。



## ●トレンド市況編①

### クラウド利用の重要性



## ●トレンド市況編②

### 働き方改革とセキュリティ



## ●トレンド市況編③

### クラウドコンピューティングとは



## ●クラウドーる編①

### CSPのご紹介



## ●クラウドーる編②

### クラウドーるのご紹介



## ●クラウドーる編③

### クラウドーるコマースプラットフォームストア概要



## ●クラウドーる編④

### Office 365のプラン選定について



## クラウドーる資料ダウンロードサイトへのアクセス方法

本格始動した「クラウドーる」に今年5月、資料ダウンロードサイトが新設されました。マニュアルや規約、価格表、各種申請書などがダウンロードできるサイトです。特に確認したいのは「即座にセールスに活用できる」提案資料のコーナーです。A4チラシや提案用に分かりやすくまとめられた詳細資料、導入事例などの充実した資料が満載です。クラウド商材セールスのヒントとしてぜひ活用ください。ストア開設済みのパートナー様にはご案内が届いていると思いますが、誌上でも資料ダウンロードサイトへのアクセス方法をご紹介します。



① ログイン後  
画面右上の「？」を開く

② 「各種資料はどこに掲載されていますか？」を展開し、URLをクリックするとサイトにアクセスできる

